

第6次中期経営計画

Timely & Speedy

～お客さまが必要とされるサービスを速やかに提供いたします～

平成29年4月、今後3年間に取組む新中期経営計画「Timely & Speedy」がスタートいたしました。

本計画では、お客さまのここを動かすサービスを日々重ねることで、「お客さまの期待に応える京都銀行」として、揺るぎない地位を確立し、京都銀行グループ各社とともに、大きく、力強く飛躍する3年間にすることを目指しております。

〈メインテーマ〉

コンサルティング機能の発揮～つなげる～

戦略方針① お客さまとの接点拡大

対面 ……より多くのお客さまにお会いします
生産性を向上させ、お客さまとお話し
できる時間を1分でも多く作ります

非対面 ……便利なサービスを提供します
スマートフォンやインターネットを利用
した取引を拡充し、ご来店いただけ
ないお客さまにも、充実したサービス
をご利用いただけます

戦略方針② 経営基盤の強化

将来にわたり、お客さまの期待に応え続けるため、人材育成・収益力・財務健全性などの経営基盤を強化します

個人のお客さまへ

未来に繋げる、親から子・ 子から孫へ繋げる

- ・ライフプランに応じたサービスを、当行グループ一体となり提供します
- ・特に、資産形成のための金融運用商品の提供・アドバイスを京銀証券も含めワンストップで行います

法人・個人事業主のお客さまへ

お客さま同士を繋げる、 事業拡大に繋げる、 海外へ繋げる、次世代に繋げる

- ・広域型地方銀行である当行の店舗ネットワークを最大限に活かし、ファイナンスにとどまらず、ビジネスマッチング、M&A、事業承継、ベンチャー支援、海外進出などのサービスを提供します

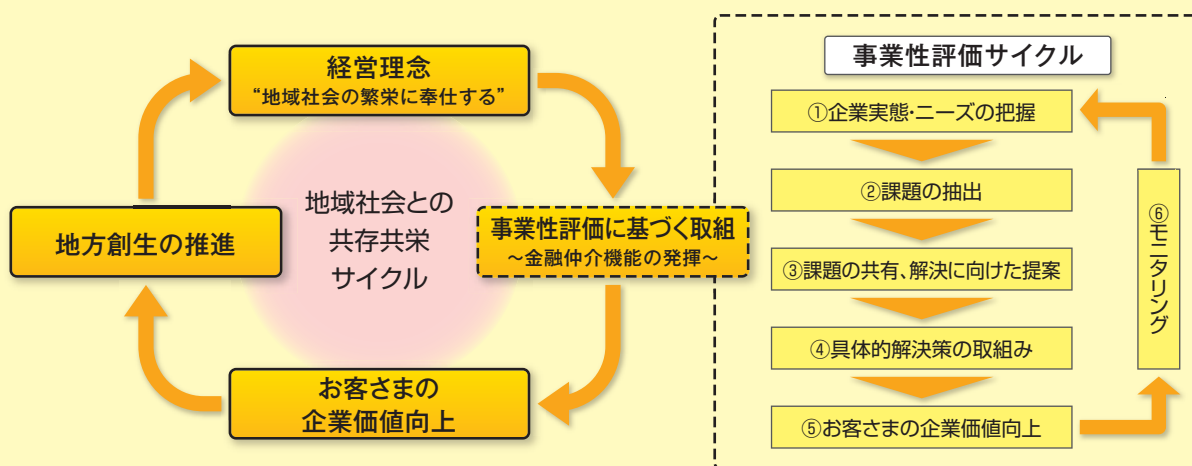
～事業性評価に基づく取組み、 地方創生の推進～

地域社会との共存共栄サイクル

- お客さまの成長を通じた地域経済の発展・地方創生を推進します

事業性評価サイクル

- お客さまの課題解決に向けて当行グループと関係者が緊密に連携し、お客さまの企業価値の向上を実現します



〈ありがたい姿〉

「お客さまの期待に応える京都銀行」

土台としての心構え

活動指針
～意識改革・行動改革～

スピード感：「早さ・速さ」の価値を大切にします
積極性：前例に捉われることなく、新しいことにも臆せずチャレンジします
連携：京都銀行グループの総力を活用します

地元産業に対する責務

地元根付いた文化・産業の発展のため、地方銀行として果たすべき役割をしっかりと担います

不祥事故の根絶

絶対に当行グループから不祥事故は発生させません

経営計画

1. 営業戦略

【戦略の柱】 「顧客基盤の拡大と段階的深耕・メイン化」

【目標数値(計画最終年度)】

預金+譲渡性預金残高	8兆円	当期純利益(連結)	200億円以上
投信+京銀証券預かり資産残高	5,000億円	個人メイン先数	40万先 (3年間で+5万先)
預金、投信、京銀証券預かり資産等の残高増加	+1兆円	相続・資産承継にかかる相談対応件数(3年間)	1万件
総貸出金残高	5兆7,000億円	事業取引先数	5万先 (3年間で+8千先)
リテール貸出金残高	3兆4,000億円 (3年間で+4,500億円)	ビジネスマッチングの商談設定件数(3年間)	5,000件
京都府内貸出金シェア	30%以上		

▶ コンサルティング機能・サービス力の強化

個人戦略

お客さまの「ためる・ふやす」・「かりる」・「そなえる・のこす」
各シーンでの提案を強化

全行員が個人のお客さまへの関わりを
さらに高め、お客さま本位の
活動を展開します

法人戦略

お客さまをよりよく知り、本業により近づき
ニーズ・課題に応じていく営業を強化

地銀NO.1クラスの取組みに
向けた活動を展開します

▶ チャネルの拡充と地域別戦略の展開

営業店体制

お客さまの利便性向上や質の高いサービスの
提供による存在感の向上

地域や各営業店、海外拠点が
置かれている現状の
変化を踏まえた体制の見直し

非対面チャネル

あらゆるチャネルを駆使し、
さまざまなお客さまとの
新たな接点を創出

2.人材戦略

<目指す行員像> 地域社会に真に役立つ人材

<行動指針> 主体性を発揮し、ワンランク上の仕事を実践

- 資産形成分野でのコンサルティング力を強化
→CFP資格の取得を推進(1,000名取得体制へ)
- 京都銀行版働き方改革プログラム「7アアップ考動」の推進
- 女性活躍推進「きらめきキャリアサポートプログラム」の実施

3.生産性向上戦略

- 生産性革新本部の設置
- 本部の機構改革
⇒業務全般・組織体制の見直しにより、営業戦力の最大化に取り組めます

4.グループ戦略

- 京銀証券を加え、より一層充実したグループ機能を活用し、タイムリーかつスピーディなご提案をいたします

≡ 京都銀行グループ

